

保護者の皆様、暑いなか保護者面談にご足労いただき、ありがとうございます。
今号は、**生徒向けの内容も多い**ため、**ぜひお子さんと一緒にお読みいただければ幸いです。**



さて、いよいよ夏休みとなりました。1年生はこれまでに高校生活のリズムをつくることができたでしょうか？ 2年生はこの時期目標を見失いがちで、いわゆる中だるみになってはいませんか？

「夏を制する者は受験を制す」とは昔から言われておりますが、これは3年生に限ったことではありません。1、2年生にとっても、これまでの総復習と苦手克服・学習方法の確立などが、この夏の課題となります。中でも「**自己コントロール力**」「**計画&実行力**」をつけるのにとてもよい機会です。それらが達成できる夏休みとなることを心から期待します。

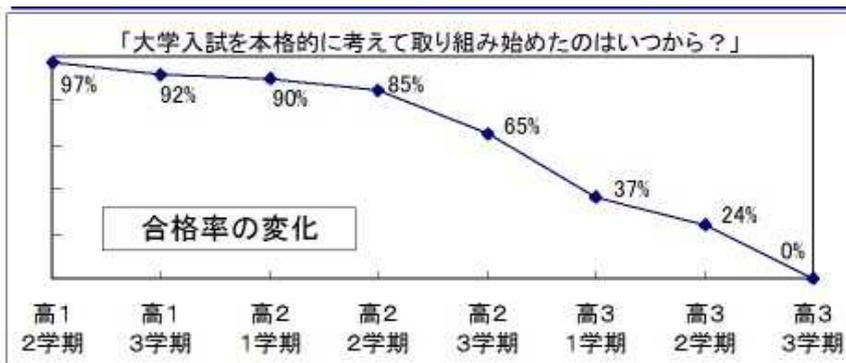
本校の進路状況をまとめた冊子『**進路要覧**』(令和6年度版)が完成し、**生徒たちに配布**しました。内容は、

- ・卒業生の進路状況(大学、短大、専門学校、就職、公務員の合否結果)
- ・推薦型選抜について(指導の流れや指定校一覧など)
- ・就職について(指導の流れ)
- ・先輩たちの合格体験記

ぜひ、保護者の皆さんもご覧になってください。

1. 受験に向けた学習

◎ 受験勉強のスタート時期と合格率



第一志望に合格した人のほとんどは、遅くとも高2の秋までに大学入試を見据えて本格的に受験勉強を始めています。

<本格的に受験勉強を始めるとは？>

- ・一気に学習時間を何時間も増やすということでは決してない。
- ・日々の学習(授業・宿題・予復習)を徹底する。
- ・宿題はやらされているのではない。一題一題を受験勉強の1つと捉える。
- ・宿題以外で、**自分のために自分で考えた課題**(毎日少しずつ積み重ねていけるもの)を課す。1日10分程度からのスタートでよい。毎日実行する。1日10分でもそれは立派な受験勉強といえる。3年生に向けて少しずつ内容と時間を増やしていけばよい。(例:スタディサプリの活用)

2. 夏休みを有意義に過ごそう

(1) 夏休みの日課表を作成しよう

部活動などの予定をもとに、夏休みの日課表を作りましょう。

ポイント

■起床・食事・就寝・学習開始時間を固定する

夏休みも生活リズムを一定に保つことが大切です。毎日同じくらいの学習量を確保できるように、学習開始時間を決めておきましょう。

(2) 「学習計画」を立てよう

課題や自分の弱点を克服するための学習計画を立てましょう。事前にしっかりと計画を立てておくことが、夏休みにスムーズに学習を始めるためのポイントです。

ポイント

■学校の課題に最優先で取り組む

まずは、夏休みの課題を確実に終わらせることを最優先にしましょう。夏休みの課題には、7月までの学習のポイントが多く含まれているので、課題にしっかり取り組むことで、復習もできます。

■苦手分野の復習に取り組む

時間がある夏休みは、苦手分野を克服するチャンスです。苦手だと思ふところがある人は、ぜひ、この夏休みに復習に取り組んでみましょう。

■毎日の学習記録をつける

何時間学習したか、計画通りに取り組めたかを毎日振り返り、記録するようにしましょう。毎日振り返ることで、すぐに軌道修正を行うこともできます。



(3) 進路について考えよう

夏休みが明けると、次年度に向けて、1年生は「**文系・理系の選択**」、2年生は「**学部・学科&入試科目の検討**」が必要となります。

これから進みたい方向がはっきりと見えていない人は、夏休み中に、「どんなことに興味があるのか」「高校卒業後に何を学びたいのか」「将来どんな仕事に就きたいのか」など、自分の将来や夢についてじっくりと考えてみましょう。また、夏休みには多くの大学・専門学校で**オープンキャンパス**が行われます。今年度は、コロナの影響もほとんどなく、**実際にキャンパスに行つての開催が大多数です。ただし、予約制をとっているところもあり、人気の学校は受付が早めに終了してしまいます。**

参加希望の学校のホームページを常にチェックし、予約漏れがないようにして下さい。また、ネットでの学校紹介や個別相談会も引き続き実施している学校もあり、こちらも積極的に活用していきましょう。

3. 入試情報のチェック

○ 大学入試改革について

「センター試験」が『**大学入学共通テスト**』になり4回実施されました。

新しい入試の特徴は、

「①**知識・技能だけでなく、思考力・判断力・表現力などを重視する**」

「②**能力・意欲・適性などを多面的・総合的に評価する**」となっています。

高校の3年間でどのような活動をしてきて、どのような力が身についたのかが、一層問われるようになります。

○ 大学入学共通テストについて

現3年生が受験する「令和7年度大学入学共通テスト(1/18(土),19(日))」の出題教科・科目・時間割

試験日	出題教科	出題科目	試験時間
第1日	地理歴史 公民	『地理総合, 地理探究』 『歴史総合, 日本史探究』 『歴史総合, 世界史探究』 『公共, 倫理』 『公共, 政治・経済』 『地理総合/歴史総合/公共』(注1) 『旧世界史A』 『旧世界史B』 『旧日本史A』 『旧日本史B』 『旧地理A』 『旧地理B』 『旧現代社会』 『旧倫理』 『旧政治・経済』 『旧倫理, 旧政治・経済』	2科目選択 9:30~11:40(注2) 1科目選択 10:40~11:40
	国語	『国語』	13:00~14:30
	外国語	『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』	『英語』 【リーディング】 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』 【筆記】 15:20~16:40 『英語』 【リスニング】 17:20~18:20(注3)
第2日	理科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/ 地学基礎』(注1) 『物理』 『化学』 『生物』 『地学』	2科目選択 9:30~11:40(注2) 1科目選択 10:40~11:40
	数学①	『数学I, 数学A』 『数学I』 『旧数学I・旧数学A』 『旧数学I』	13:00~14:10
	数学②	『数学II, 数学B, 数学C』 『旧数学II・旧数学B』 『旧数学II』 『旧簿記・会計』 『旧情報関係基礎』	15:00~16:10
	情報	『情報I』 『旧情報』	17:00~18:00

(注1) 『地理総合/歴史総合/公共』を選択する場合は、「地理総合」「歴史総合」「公共」の三つの出題範囲のうちから、必ず二つの出題範囲を選択解答するものとする。

『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』を選択する場合は、「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」の四つの出題範囲のうちから、必ず二つの出題範囲を選択解答するものとする。

(注2) 地理歴史及び公民並びに理科の試験時間において2科目を選択する場合は、解答順に第1解答科目及び第2解答科目に区分し各60分間で解答を行うが、第1解答科目及び第2解答科目の間に答案回収等を行うために必要な時間を加え、試験時間は130分とする。

★ 昨年度までとの大きな変更点

- ・科目「情報I」の追加。
(国立大では必須とする方針。ただし活用の仕方は随時発表)
- ・国語の試験時間10分延長。現代文の大問も1題追加。
- ・数学②の科目が「数学II BC」に一本化して、試験時間が10分延長。
- ・地歴公民は、科目の大幅な変更により、2科目受験の際はその組み合わせに注意

★ 共通テストの平均点について

- 共通テスト初年度が、比較的平均点が高めのやや易しめの問題だったのに対して、2回目は一気に難化して平均点が大幅にダウン。そして3回目の前回は科目によっては易化となり、4回目の今回は全体的にやや易化しました。年によって、また科目によっては今後も大きな変動があるかもしれません。文科省が公開している平均点の目標設定は、センター試験の時は6割だったのに対して、共通テストでは5割なので、大幅な易化は考えにくいといえます。

- 平均点が大きく変化した科目（前年に対して）

国語	数学 I A	生物	地理B	政治経済
+10.8点	-4.3点	+6.4点	+5.3点	-6.6点



○ 英語の資格・検定試験の入試活用について

「各大学・学校ごとに資格やスコアを入試に活用する方式」が**拡大**しています。英検などの資格取得には、低学年（高校1年時）から積極的に取り組み、ぜひ

・**2年生の3月までに英検準2級取得**（できれば2年生11月までに）

・**卒業までに2級取得**（できれば3年生の夏休み前までに）を目標

に励んでほしいと思います。

○ 「推薦型選抜」と「総合型選抜」について

- ① 出願時期・合格発表時期の変更（4年前から）・・・以前より遅くなっています

- 推薦型選抜 「出願時期：11月以降」「合格発表時期：12月以降」
- 総合型選抜〔IHA0〕「出願時期：9月以降」「合格発表時期：11月以降」

- ② 試験内容の変更

従来の面接や小論文に加えて、「大学入学共通テスト」または「教科・科目に関わる学力テスト」、「口頭試問」、「プレゼン」などを課す大学が増加し、より『学力』が求められることとなります。